

第2回親守詩広島県大会

応募総数1256作品から27名の児童・生徒が入賞



参加した受賞児童・生徒とご来賓の皆様

平成29年9月2日(土)、広島ビジネス専門学校(広島市中区)にて、第2回親守詩広島県大会を開催しました。広島県内外から約100名の方にご参加いただきました。

講演では、講師に藤原紹生先生(フジハラレディースクリニック院長)に「いいお産で、いい家族、いい人生へ」という演題で出産、子育てに関わる貴重なお話をいただきました。

表彰式では、応募総数1256作品から27の優秀作品が紹介されました。親子の絆を再確認する中で、親守詩の素晴らしさを実感し、とても温かい雰囲気になりました。

■講演「いいお産で、いい家族、いい人生へ」

藤原紹生氏(フジハラレディースクリニック院長)より、御講演いただきました。「日本はお産が良くなると、教育は良くなる」とお産に関わる立場からいい家族、幸せな人生への講話を頂きました。お産をするときに「痛い」「ギヤー」と言いながらお産すると赤ちゃんの心に傷を残すと言われていた。その後2歳までに「あなたが生まれてよかった」という言葉をたくさん浴びさせれば問題はないとされていますが、このような心の傷がないようなお産にしていきたい。求めていけばいいお産があり、幸せなお産ができるのだということを教えていただきました。(裏面に講演概要を掲載)



■表彰式にて広島県知事賞を授与!

広島県知事賞を始め、各メディア等から賞を出していただきました。(裏面に入賞作品一覧を掲載)



広島県健康福祉局 子育て・少子化対策課課長 寺崎雅浩様より広島県知事賞を授与していただきました。

■広島県親学推進協会会長挨拶

第2回親守詩広島県大会にたくさんの方に参加いただき、厚く御礼申し上げます。親学とは、親が親になるための学びです。親守詩は、子供が親に対して感謝の気持ちを表現した詩です。2004年に松山市で始まりました。それをTOSSの先生方の努力下で、親子の連歌を作り出しました。そして、親子の愛を育んでいくことに役立っています。第2回親守詩大会を行うことができることを嬉しく思っております。【会長】上野淳次(上野学園理事長)



■御祝辞をいただきました。

【自由民主党政務調査会長 岸田文雄様】
第2回親守詩広島県大会が、盛大に開催されることに心よりお慶び申し上げます。親が子を慈しみ、子が親に感謝の気持ちを表す場として、本体会が心温まる場になりますことを期待いたします。大会のご成功と、ご参集の皆様のご多幸を祈念いたします。



【広島県議会議員 緒方直之様】
第2回親守詩広島県大会のご盛會を心よりお祝い申し上げます。親守詩の取り組みを通して親子の絆が、さらに深まることを期待いたします。親守詩広島県大会の今後末永いご発展と、ご参會の皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。



■主催: 広島県親学推進協会

■後援: 広島県 広島市 広島県教育委員会 広島市教育委員会 広島県PTA連合会 広島市PTA協議会 一般社団法人 広島青年会議所 日本郵便株式会社中国支社 中国新聞社 中国放送 テレビ新広島 広島ホームテレビ 広島テレビ FMちゅーピー76.6Mhz TOSS広島

■講演概要「いいお産で、いい家族、いい人生へ」藤原紹生氏 フジハラレディースクリニック院長

○はじめに

いじめ、産後うつ、虐待、学級崩壊など現状の問題があります。出産し赤ちゃんが生まれてそこから子育てと続いていくのならその過程の中に、これらの問題の原因因子があるという事になります。必ずしも赤ちゃんの時から問題があるとは限りませんが、いいお産で日本の教育を変えていきたいと思っています。「日本はお産が良くならないと、教育は良くならない」とお産に関わる立場から、いい家族、幸せな人生への話をすることにしました。

○お産は楽しいもの

世間ではお産と聞くと、「痛くて・怖くて・辛いもの」という考え方があります。当クリニックでは「楽しくて・幸せで・満足するもの」という意識で患者さんと接しています。お産は自分の見方によって見え方が違ってきます。患者さんとともに幸せなお産となるよう意識の転換を進めています。その一つとして、ソフロロジー出産を推奨しています。やさしい出産で、「終わった」ではなく、赤ちゃんが「生まれた」という感覚が残るようです。出産を通して、いとおいしい我が子を殺めるといふ事がない世の中にしたいと思っています。

○パラダイムシフト

自分を変えなくても自分の考え方を考えるだけでお産の在り方を変えていくことができます。価値観の枠組み(パラダイム)を変えていこうと(シフト)することで、お産の質を変えられるのです。いいお産には3つの条件があります。「許可する事」「意識する事」「言葉」です。お産は陣痛を我慢するというイメージがありますが、「楽しんでいいんだよ、いいお産をしていいんだよ」と自分のお産を許可し、意識の変化をもたらすことができます。それを実際に声に出して言うことで意識を変えていくことができます。痛い痛いという意識でお産をしていくと「痛い」お産となっていく。「ありがとう、ありがとう」と声に出していくことで実際に「ありがとう」のお産へと変えていくことができます。

○おわりに

お産をするときに「痛い」「ギヤー」と言いながらお産すると赤ちゃんの心に傷を残すとされています。その後2歳までに「あなたが生まれてよかった」という言葉をたくさん浴びさせれば問題はないとされていますが、このような心の傷がないお産にしていきたいのです。求めていけばいいお産があり、幸せなお産ができるのだということを世の多くの方々へ広めていきたいです。

■第2回親守詩広島県大会入賞作品

- 【 定型詩の部 】
 - 広島県知事賞 カブトムシいっしょにつかまえようぶして 末廣 雅仁
 - 高橋史朗賞 おとうさんいっしょにおふるはいつてよ 梶田 結生
 - 広島県親学推進協会会長賞 寝ていてもいっしょに見ているお母さん 松本 蘭
 - 広島県教育委員会賞 朝になるあの音聞くといよ香り 宗像 結希
 - 中国新聞社賞 お父さんはなれていてもそばにいる 黒野 愛華
 - 中国放送賞 あさはやくおこしてくるお母さん 常森 望菜
 - テレビ新広島賞 ハンバーグふわふわあまい祖母の味 鷹田 花
 - 広島テレビ賞 大好きと言えなくなっても変わらない 鎗野 光桜
 - 広島ホームテレビ賞 お父さんいつも大好き心から 川田 亜美
 - FMちゅーピー賞 お父さん一しよにあそばーりん車 川崎 莉子
 - J-C広島賞 お手伝い母の具合の悪いとき 檜 和花
 - 広島市PTA協議会会長賞 いっつまでもいっしょにいようねお母さん 國武 倫太郎
 - 審査員特別賞 お母さんからあげうまし母の味 余島 拓海
 - 【 連歌の部 】
 - 広島県知事賞 いっつまでもみまもるえがありがとう 渡谷 美月
 - 高橋史朗賞 両親の厳しさ優しさ忘れない いっつかは分かる厳しさの意味 立畑 泰征
- 広島県親学推進協会会長賞 お父さんまだまだ甘えていいですか 素敵な大人になるその日まで 大西 結子
- 広島県教育委員会賞 お母さん家族で作ろうよるこはん 気持ちをつつむぎヨーザづくり 幸せ四倍娘が四人 田村 菜海
- 中国新聞社賞 子が多く大変だけどよろしくね 幸せ四倍娘が四人 松尾 華奈
- 中国放送賞 休みの日コーチにへんしんお父さん ゆめは大きくカーブせんしゅ 村岡 航成
- テレビ新広島賞 サッカーをいっしょにやろうおとうさん 心のパスもつないでいこう 栗本 悠佑
- 広島テレビ賞 昼ご飯一緒に作るうお母さん クックパッドでまずは検索 中迫 由
- 広島ホームテレビ賞 十三年支えてくれてありがとう お礼は早いまだ手は掛かる 阿武 祐樹
- FMちゅーピー賞 お母さんちよつとトジなところある あなたもそのうちこうなるわ 土岐 文字
- J-C広島賞 ダイヤより百倍大事な父と母 宝石いらぬ宝はあなた 石橋 尚己
- 広島市PTA協議会会長賞 あなたの背ほくのおこがれお父さん いっつか追い越すその背を見たい 井上 直宥
- 審査員特別賞 ありがとうこの言葉しかいえないよ ごめんねよりもききたい言葉 古賀 啓士
- 審査員特別賞 テニストラケット親から貰った宝物 使う娘も宝物 中原亜耶乃

第三回 親守詩作品を募集!
下記ホームページから応募ください。
募集期間 平成二九年九月三日
平成三〇年七月二〇日

■参加者の声

講演会、表彰式が、とてもよかったです。親子共々、温かい気持ちになり、より絆が深まった気がします。本日はありがとうございました。(40代 男性)
藤原先生の楽しい、明るい出産が大変大事だと知りました。前世、中間世から神秘的な生命の誕生を改めて実感しました。連歌もとても感動しました。(50代 女性)

今回、受賞できた事、光栄に思います。子供の成長と共に、親も成長し、親子の絆を子から子へとつないでいけたらと思いました。藤原先生のお話がとても素晴らしかったです。(40代 男性)



約100名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。